

## 3 校（黒門小学校・東浅草小学校・旧小島小学校）に関する意見まとめ（案）

## ○提言の構成について（項番 5：各校の考察について）

小学校名	意見まとめ
黒門小学校	<p>黒門小学校は、3 階のアーチ状の窓や天井梁のハンチのアーチなどデザインとしても優れているとともに、復興小学校の特徴的な当時の意匠が残っており非常に歴史的な重みを感じとれる。また、地域住民や学校関係者などの保存や意匠継承の意向も強く、校舎の歴史的価値や当時の設計思想が地域へ浸透している。現役の小学校として活用していることに大きな意味があり、この度の大規模改修においても、意匠を損なうことのないよう配慮することはもとより、当時の姿の復元に努めるなど積極的に取り組んでいる。</p> <p>このことから、校舎の歴史的価値の継承に引き続き取り組みながら使用していくことが望ましい。</p>
東浅草小学校	<p>東浅草小学校は、数少なくなっている復興小学校の中で、現役の小学校として活用しているという意味においても貴重である。また、公園が隣接していることもあり、その利点を活かしながら校舎と公園の両方をうまく使用できるように活用することで、コンパクトな都市型の小学校として大変よい成果を生み出せる可能性を秘めている。</p> <p>今後とも、校舎と公園の両方を活かしながら活用する方法を更に検討し、生徒達に歴史ある復興小学校で学んでいるということを絶えず伝え記憶に残るよう努めながら、地域の方にも愛される形で使用していくことが望ましい。</p>
旧小島小学校	<p>旧小島小学校は、円形のトイレや屋上のパーゴラなど特徴的なデザインを有するとともに、復興小公園が隣接するという復興小学校の代表的な特徴もそなえている。</p> <p>若いデザイナーの創業支援を行うデザイナーズビレッジ等を設置する現在の活用方法は適切であると思われるが、新しい産業の活動及び支援をする拠点として更に拡大するなど、復興小学校の象徴的なデザイン等もうまく使い、潜在的な要素をより活かせるよう戦略を持って整備することで、校舎の価値をより高めていくことが望ましい。</p>